

令和 4 年 6 月 8 日現在

機関番号：12603

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2021

課題番号：18K18248

研究課題名（和文）天然資源依存経済におけるマクロ経済と産業の推移に関する分析

研究課題名（英文）Analysis of the Macroeconomy and Transition of Industry in the Resource-dependent-economies

研究代表者

中瀬 一恵（出町一恵）（Nakase, Kazue）

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号：20709753

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究はアフリカ諸国の国際金融市場との関係変化からアフリカ諸国の産業がどのような影響を受けるかを明らかにするため、西アフリカ・ガーナ国における調査を行った。国営石油会社、証券取引所、マイクロファイナンス、クレジットユニオン、地方銀行などの調査を通じ、国内における金融サービスの増大が、政府による海外での資金調達（ユーロ債の発行）と時を同じくして起こってきたこと、しかしながら国内における金融サービスの急速な増加は、産業への投資や起業機会の増大に結びついていないことが分かった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アフリカ諸国は1980年代から2000年代にいたるまで、国際的な債務問題を抱えてきた。近年はこの問題が解消され国際金融市場との関わりが増大する一方で、海外からの資本流入の増大や政府の新たな債務の増加がみられた。しかしながら本研究を通じ、国際資本の流入、金融サービスの増大、加えて天然資源開発が国内で分断され経済的な明らかな連関を持たない可能性、現在の国際金融市場が主導しつつある経済開発の在り方には問題がある可能性が示唆された。

研究成果の概要（英文）：This research aimed to study how the situation shifts in the relationships between African countries and the international financial market affects the African domestic industries. Based on the interviews and information collected through research at the national oil company, securities market, microfinance institutions, credit unions, and local banks in Ghana, the following findings are obtained. The surge in domestic financial services coincided with the access to international finance by the government. However, the increase in financial services is not interlinked with increases in investment in industries or start-ups of small businesses.

研究分野：アフリカなど発展途上国のマクロ経済の安定化や経済発展への国際市場動向の影響についての経済分析

キーワード：国債 金融 産業 投資 債務 アフリカ

1. 研究開始当初の背景

本研究の対象であるアフリカの経済については、以下2点のような背景があった。

(1) 製造業の衰退と天然資源依存

経済発展が進むと各国の主要産業が製造業からサービス業へと移行していくという長期的な傾向に関し、サハラ以南アフリカ諸国などは製造業がピークを迎えた、すなわち、経済発展を達成しないままに製造業の停滞・衰退を迎えたと指摘される。西アフリカのガーナでも、軽工業のうち紡績・繊維および縫製業が1990年代以降衰退の一途をたどり、その要因として中国からの安価な輸入品の流入、輸入品との競争に耐えるほどの効率性向上を阻む物価や人件費を含むコストの高さがあげられる。また、アフリカにおける製造業の停滞は、農業生産性の低さや鉱物資源の輸出に依存することから生じるオランダ病などの問題によると説明されてきた。

(2) 1980年代から続いた対外的債務問題の解消と新たな債務

アフリカ諸国の天然資源依存と累積債務問題は1980年代より続き、アフリカ諸国の長い経済停滞と密接に結びついてきたが、2000年代に入り国際的なイニシアチブにより債務問題が終結したと同時に、多くのアフリカ諸国が世界金融市場へのアクセスを得、政府が外貨建て国債(ユーロ債)を発行し、民間市場にて資金調達を行うようになった。

2. 研究の目的

本研究はアフリカ諸国の国際金融市場へのアクセスや、関連して増加する国際金融市場からの新たな形態での資金流入やその存在が、資源依存型であるアフリカ諸国の非採取産業部門、つまり製造業や農業にどのように影響するかに着目した。アフリカの中でもガーナやエチオピアでの現地調査と併せてマクロ経済データ等を分析することにより、長い間停滞し、特に近年すでにピークを過ぎたと論じられるような製造業などの産業の成長に、1980年代からの対外債務問題の解消がどのように影響するのか考察することを研究の目的とした。

3. 研究の方法

当初はガーナやエチオピアで、年に1、2度の現地調査で資料や統計などの収集とインタビューを行うとともに各国政府や国際機関の公表するデータを中心に、計量経済分析を行うことを予定した。しかし社会情勢の不安定化からエチオピアでの調査は諦め、ガーナでの調査を主とした。ガーナでは、財務省や中央銀行、国営石油企業や製油所、証券取引所、マイクロファイナンス、クレジット・ユニオン、地方銀行などへの聞き取り調査や資料の収集を行った。

4. 研究成果

(1) 金融サービスの増大と経済活動との乖離

まず、現地での調査よりガーナ経済における外貨取引を行う大規模銀行(ユニバーサル・バンク)とそれ以外の比較的小規模な金融サービスの在り方が大きく乖離していることが分かった。また、経済の金融化、すなわち金融サービスの増大とそれによる金融危機が、政府の海外での外貨建て国債(ユーロ債)の発行と時を同じくして起こってきたことが分かった。一方研究を進めるうちに、ガーナ国内における経済活動への金融システムを通じた影響が見えてこないのはなぜかという大きな疑問が生じた。特にガーナ国内における銀行の国有化、統合などといった金融危機が、経済活動にはほとんど影響を与えていないように見られた。

2000年代以降から金融サービスの増大、特にクレジット・ユニオンやそのほか準フォーマルな金貸し業の急速な増加も見られ、本研究の調査機関にかけては登録金融業者への規制強化なども実施された。一方で、金融サービスを提供する主体へのインタビューなどを通じて顧客による資金の用途などについて調べると、ほとんどが子供の入学準備や日々の生活・消費に必要なローンなどの消費平準化のための保険的機能を担った金融サービスであり、投資や起業機会の増大に結びついていると考えられるような情報は得られなかった(Demachi 2020)。

(2) 生産活動と金融サービスの関係

上記のように、ガーナ国内では多様な金融サービスが増大した一方で、調査によって金融サービスは投資を促進できていない可能性が示唆された。この点に関連し、現地での省庁や地方銀行での聞き取り調査からは、担保設定の難しさが大きな問題点となっていることが予測された。個人を特定するための戸籍や住所といった制度、土地や建物の所有権を保証するための登記制度や法が整備されておらず、担保を設定して融資を行うことができない(Demachi 2021)。特にアジアの経験からは、製造業などの産業発展には長期資本が金融サービスを通じて提供されることが必要であることが分かっており、担保設定によって可能になるはずの長期かつ比較的多額の融資が行われなかったということは、産業発展にとって致命的であると考えられる。この問題点を緩和するために、政府は資産の登録システムなどを導入しているが、そもそも登録すべき資産を持つ者もそれほど多くないと考えられる。このような問題から、たとえ海外から資本が流入していたとしても、資本は国内の民間投資には分配されないことが示唆された。他方で、ガーナ中央銀行でのインタビューなどからは海外からの資本流入はガーナ国内での国債購入に向かっていることが伺えた。このような状況が意味することや予測される問題については、世界的な感染症拡大により状況が大きく変化していることもありさらなる分析が必要であるが、政府の財政状況の複雑化、マクロ経済の不安定化につながる恐れがあると考えられる。

(3) コーポラティブとクレジット・ユニオン

上記のように、所有権制度やそれを補完するような社会の仕組みが上手く機能していない中で、金融サービスと国内の経済活動の相互連関が脆弱であることがわかった。その一方で、金融系のコーポラティブ(組合組織)であるクレジット・ユニオンについて個別の機関での調査や管轄省庁へのインタビューを進める中で、このようなコーポラティブによる経済活動が非常に活発かつ多様であり、ガーナの経済においては経済統計などに基づいて思い描かれる以上に、コーポラティブによる経済活動の存在感が大きい可能性があるという気づきを得られた。コーポラティブについては活動を把握することが容易ではないが、今後のアフリカ経済についての研究を進めるうえで、留意していくべき重要な発見となった。

<引用文献>

Demachi, Kazue (2020) "Finance-led growth in Africa: Booms and missing links," *ASC-TUFS Working Papers 2019*, African Studies Center, Tokyo University of Foreign Studies:5-22.

Demachi, Kazue (2021) "The economy of pawning: Institutionalism revisited", *ASC-TUFS Working Papers 1*, African Studies Center, Tokyo University of Foreign Studies:3-19.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 Demachi, Kazue	4. 巻 2
2. 論文標題 The African Sovereign Debt: Financial Dominance over Development	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers	6. 最初と最後の頁 129-144
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Demachi, Kazue	4. 巻 Volume 1
2. 論文標題 "The economy of pawning: Institutionalism revisited"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers	6. 最初と最後の頁 3-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Demachi, Kazue	4. 巻
2. 論文標題 Finance-led growth in Africa: Booms and missing links "	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers 2019	6. 最初と最後の頁 5-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Demachi, Kazue	4. 巻 1
2. 論文標題 New African debts and natural resource dependence	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers	6. 最初と最後の頁 5-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 出町 一恵, 金京 拓司	4. 巻 218巻第2号
2. 論文標題 開発途上国のドル化とマクロ経済安定化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 15-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 Demachi, Kazue
2. 発表標題 The African Sovereign Debt: Where Has the Money Gone?
3. 学会等名 ASC-TUFS 5th Anniversary International Symposium, at the Tokyo University of Foreign Studies on November 3rd and 6th, Fuchu, Tokyo. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kazue Demachi
2. 発表標題 "Finance-led growth in Africa: Booms and missing links"
3. 学会等名 PIASS-TUFS Joint Seminar on Resource Management and Development, 18-19 February 2020, Huye, Rwanda. (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Demachi, Kazue
2. 発表標題 New African Debts and Natural Resource Dependence
3. 学会等名 The JSPS Alumni Club in Denmark Activity Seminar, "Natural Resources Bringing Japan and Africa Closer" on October 11, 2018, at Aarhus University, Aarhus, Denmark. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Demachi, Kazue
2. 発表標題 New African Debts and Procyclicality of the Macroeconomy
3. 学会等名 International 'UP-TUFS Seminar' at the University of Pretoria on September 13, 2018, Pretoria, South Africa. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Demachi, Kazue
2. 発表標題 New African debts in the post-crisis international economy
3. 学会等名 国際経済学会第8回春季大会, 2018年6月16日, 北海道大学経済学部, 北海道札幌市。
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------